

科目名	経済学 I	担当者	楠谷 清	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

## 【授業概要】

授業目的	この講座では、経済社会の仕組みを理解し、さらに、社会で生じる様々な社会現象とくに経済現象にアプローチするための経済学の基礎理論を習得することを目的とする。 中級・上級科目および発展科目の履修のために必要となる経済学の基礎の習得を目的とする。		
到達目標	現代社会で生じる様々な経済現象にアプローチするための基礎的知識を習得するとともに、ミクロ・マクロ経済学や財政学、公共経済学、国際経済学といった発展科目の理解を深めるのに役立つ初級の経済理論の習得を目標とする。		
履修条件	なし		
授業方法	テキストに沿って講義を進める。必要に応じて講義に関連する資料を配付する。 スライド（パワー・ポイント）を使用して講義を行う。		
準備学習	毎回事前に教科書の当該箇所を読んでおくことは必須のことであるが、経済問題にも随時触れ経済現象に興味をもつようにする。 毎回授業終了後は要約を通して授業でやったことを再確認する。		
成績評価	種別	割合	評価基準
	定期試験	80%	筆記試験は経済学の重要概念が習得されているかを判定する。授業中に解説された基本的な項目・事項について理解すること。
	平常評価	20%	授業に毎回出席することは学習の基本である。したがって、受講態度とともに出席率も平常評価に加える。
教科書	山口正春・楠谷清編著『経済学入門（Next教科書シリーズ）』：弘文堂		
参考書	授業中に適宜、紹介する。		
オフィスアワー	水曜日 15:00～16:00（休暇中を除く、事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（4号館3階432） kusuya.kiyoshi@nihon-u.ac.jp		

## 【授業区分】

区分	授業内容
1	講義計画・成績評価の方法・参考文献の紹介など
2	第1章 経済学の基本問題と経済学の課題 1. 経済と経済学 2. 経済循環の構造 3. 市場経済・計画経済・混合経済
3	4. 市場機構の仕組み 5. 経済学の歴史
4	第2章 消費者行動の理論 1. 消費者行動 2. 効用関数と無差別曲線
5	3. 最適消費の決定 4. 所得変化と価格変化の効果
6	第3章 生産者行動の理論 1. 生産者の行動 2. 生産関数
7	3. 等費用線と費用最小化 4. 費用関数
8	5. 最適生産の決定 6. 供給曲線
9	第4章 競争市場均衡 1. 市場の分類 2. 市場均衡
10	3. 余剰分析 4. 比較静学
11	第5章 不完全競争市場 1. 独占市場 2. 完全競争市場
12	3. 価格差別 4. 独占と資源配分の効率性 (5. 不完全競争と独占的競争) 6. 寡占市場とゲームの理論
13	第6章 国民所得のさまざまな概念 1. 国民所得 2. 国内総生産

	3. 名目GDPと実質GDP 4. 三面等価の原則
14	第7章 均衡国民所得の決定 1. 総需要と総供給 2. 消費、投資と乗数効果の関係
15	3. 均衡国民所得の決定 講義のまとめ